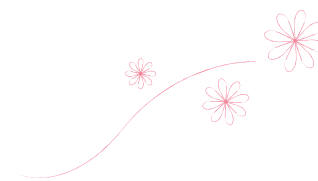




国家資格
公認心理師
対応！



学芸学部 心理行動科学科

Department of Psychological and Behavioral Science



宮城学院女子大学

1 心理学とは？

行動を媒介として心を科学する学問です。

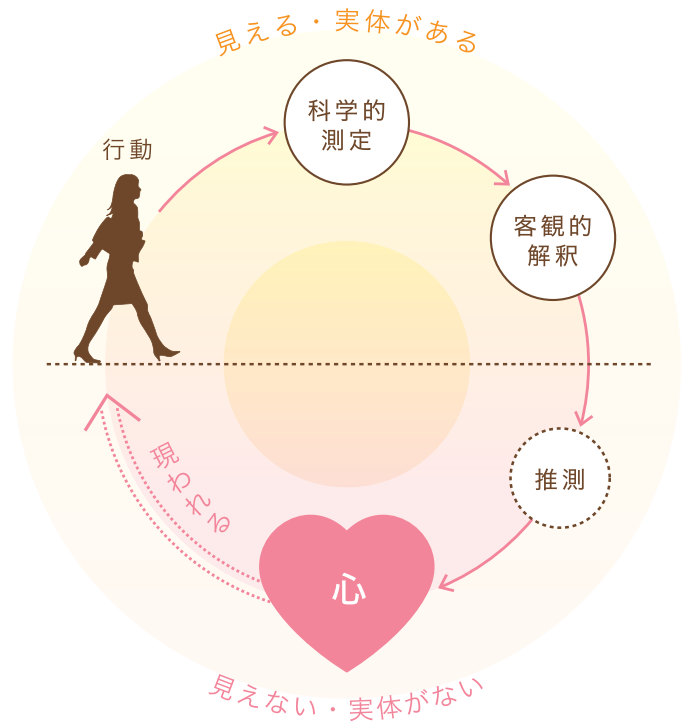
① 心理学者はみんなカウンセラーである。② 心理学を勉強すれば心を読める。どちらもよくある誤解です。どこが間違っているのでしょうか？

そして、本当の心理学とはどんな学問なのでしょう？

まず ① の誤解について。カウンセラーになるためには心理学の勉強をしますが、心理学の勉強をした人全員がカウンセラーになるわけではありません。むしろ、カウンセラーとは縁が薄い領域の方が圧倒的に多いくらいです。カウンセリングは心理学のほんの一領域に過ぎないのです。

では、②はどうでしょうか。「占い師が顔を見ただけでその人が何を考えているかを当てる」ような、そんなイメージだとしたら、それはやはり誤りです。たしかに心理学は心を扱いますが、その過程では、心と密接な関係にある行動を科学的に測定することが求められるのです。

つまり、心理学とは、行動を媒介として心を科学する学問なのです。



[心理学では心をこんな風にとらえます]

2 心理行動科学科とは？

実証、実践、そして多彩。

「心理学＝カウンセリング」というような誤解は、実は心理学の教育に携わる人たちが自ら創り出したところもあります。すなわち、臨床心理学を中心として学ぶ学科を数多く開設したことです。

宮城学院女子大学の心理行動科学科は、心理学の幅広い領域を、特に科学的手続き(＝実証的手続き)に力点を置いて学ぶ学科として開設されました。この「文科系学問でありながら**実証的な学びができること**」が本学科の一つの特色です。

また、学科のモットーを「心理学は、机の上だけでは学べない」としました。すなわち、座学だけでなく**実践を重視する姿勢**。これが二つ目の特色です。学問を大学の中だけの特別な存在として位置づけるのではなく、日常生活や社会実践と密接に関係のあるものとして意識できるようなカリキュラムが組まれています(③ **カリキュラム・授業紹介**をご覧ください)。

このような実証と実践を追求する心理学系の学科は全国的にもそう多くはありません。近隣の他大学ではなかなか学べない領域のゼミを揃えていることも特色です。

公認心理師カリキュラムに対応しています。

公認心理師資格は文部科学大臣及び厚生労働大臣が主務大臣となる国家資格で、2017年9月15日に施行されました。本学科は、2018年4月入学者から、公認心理師の受験資格を取得できるようにカリキュラムを整備しました。

・心理行動科学科の学生だけを対象に、大学在学中に履修が求められる25科目すべてを修得できます。

・25科目すべての単位を修得して心理行動科学科を卒業しても、それだけでは受験資格を得られません。卒業後に一定期間、実務に従事することが必要です。ただし、公認心理師受験資格に対応した大学院に進学して所定の単位を取得すれば、実務経験は免除されます。

・指定科目のうち、演習科目・実習科目は3年次以降に開設しますが、各年度の受講生を5名以内とします。

なお、資格や試験の詳細は「日本心理研修センター」のWebサイト(<http://shinri-kenshu.jp/>)をご覧ください。

3 カリキュラム・授業紹介

		1年次	2年次	3年次	4年次
A	セミナー	心理学入門セミナー 心理学実践セミナー①	心理学セミナー	心理学セミナー	卒業研究セミナー (卒業論文)
B	専門関連科目	哲学 社会学 人間工学 生物学 人体の構造と機能及び疾病 文化人類学			
	基礎科目	心理学概論	心理学統計法概論②		
		心理学情報処理実習	心理学統計法実習② 心理学実験実習④		
	展開科目	感情・人格心理学 学習・言語心理学 知覚・認知心理学			
			教育・学校心理学 神経・生理心理学 社会・集団・家族心理学		
	専門発展科目			心理学研究法概論 心理的アセスメント概論 社会調査法概論 社会調査法実習 臨床心理学概論	
C	基礎科目			発達心理学 障害者・障害児心理学 児童青年心理学 心理学的支援法	
				心理学特講⑤	
	展開科目				
D	キャリア科目				
E	公認心理師に関する科目			心理演習	
				公認心理師の職務 精神疾患とその治療 関係行政論 心理実習	
F	その他	政治学 経済学 プログラミング法	心理学実践研修A・B⑤ 心理学文献講読		

□ 講義科目 □ 実験・実習科目 ①～⑤の授業の解説は下記をご覧ください。

本学のカリキュラムは、①1年次から4年次まで開講されるセミナー群、②基礎から応用へと発展していく講義科目群（一部、実習・演習科目を含む）、③キャリア形成をサポートする科目、④公認心理師に関する科目群、さらに、⑤論理的思考力や問題解決能力を高めたり、社会での実践経験や大学院への進学をサポートするための科目群、の5つに分かれます。⑥講義科目群は、心理学を囲む隣接領域の学問から始まり、心理学の基礎領域の学びを経て、さらに応用領域へと展開します。⑦は将来公認心理師の受験を考えている人のための科目群です。

① 心理学実践セミナー

本学科は「心理学は、机の上だけでは学べない」がモットーです。

そこで、1年生のうちから、街に出てデータを集めたり、手を動かしてモノを創ったり、アクティブな活動を通して心理学の学びを見つけてもらおうという科目を設けました。1年間かけて創りあげた「何か」を「ココロサイコロ20XX」と題して一般の方々に発表します。これまでに取り上げられたテーマは、「ディズニーの世界を科学する」「視覚イリュージョン」「エスカレーターはどう乗る!？」「義援金を寄付する心理」などです。

② 心理学統計法概論・心理学統計法実習

心理学統計法概論は2年生の前期に、心理学統計法実習は後期に開講されています。前期は、質問紙（アンケート）や心理実験などによって得られたデータを分析するための理論を学びます。前期に学んだ知識をもとに、実際に統計解析用のソフトウェアを用いて、分析の具体的な手法を身につけるための科目が心理学統計法実習です。数学が苦手な人でも大丈夫！実際のデータを扱いながら、データ分析の考え方を体験的に学ぶことができます。

③ 心理学特講

教員の専門領域に特化して、最先端の研究成果を踏まえた講義をおこなう科目です。2年次までに修得した心理学に関する基礎知識を前提として3年次に開講され、高度な専門性を獲得するための授業です。ゼミの所属に関係なく、どの教員の授業も受講することができますので、複数の専門性を身につける機会ともなります。

■ カリキュラムの特徴

■ 基礎領域の充実

基礎領域の勉強は、難しいものでも退屈なものでもありません。基礎領域にこそ心理学の本質があり、また、多様な応用領域へと発展させる大事な土台ともなるものです。本学科では1～2年次の基礎科目を充実させることで、心理学のおもしろさ・奥深さを学び、3年次以降の応用領域への展開をはかります。特に、心理学実験実習では一般の大学の約2倍の時間を使って丁寧に指導します。

■ 4年間を通じてゼミがある

左の表の一番上を見てください。「セミナー（通称“ゼミ”）」が1年次から4年次まですべての学年に開講されています。1年次にはオムニバス形式ですべてのゼミを学び、2年次に2つのゼミを選択します。3年次にはさらに1つに絞って学びを深め、4年次にはそのゼミで卒業論文を完成させます。このようにすべての学年において少人数のゼミで学べるカリキュラムが本学科の特色の一つです。

■ 他大学では学べない専門領域

本学科には6つのゼミがあり、これらのゼミでは担当教員の専門領域を中心に、自分の専門を深く掘り下げていきます。その特徴は、東北地方の他大学ではなかなか学べない多彩な領域がそろっているということです。少人数の学科ならではのアットホームな雰囲気の中で知識を深めていきます。

■ 実践経験を単位でサポート

学内にとどまらず、資格取得やボランティア活動など、広く実社会における活動が、心理学の学びをより幅の広いものへと変えてくれます。本学科では、これらを単位として認定する制度が設けられています。このような経験を通して得た知識を現実場面と関連づける力を獲得することで、単なる知識の獲得を超えた真の学びをサポートします。

④ 心理学実験実習

心理学の科学的な測定法を様々なテーマを通して実践し、心理学に関する知識を深めます。具体的には、実験者および実験参加者として実験に参加し、そこで得られたデータを分析・解釈し、レポートを作成します。このような実験実習は、心理学を学ぶ学科では必修科目として開講されていて、本学科でもとても大切な実証的科目です。様々な心理学の領域に触れるために豊富なテーマをとりあげています。

※テーマの例：皮膚電気活動、疲労測定、尺度構成法、行動観察法、対人葛藤実験、顔映描写、心理アセスメント法 他

⑤ 心理学実践研修 B

実社会における実践を単位としてサポートするための科目です。学外における活動やカリキュラム外の活動で、かつ、心理学的な関連性や考察が可能な活動を単位として認定します。学術的な講演会や講習会に参加するなど、小さな活動を積み重ねてポイントを貯め、一定のポイントが貯まったら単位に交換するというユニークな仕組みになっています。

※心理学実践研修Aについては、④ 学びの質の保証をご覧ください。

近隣の他大学ではなかなか学べない多彩な研究領域のセミナーを展開するとともに、実践を重視。アットホームな雰囲気の中で知識を深め、客観的思考力を身につけます。

4 学びの質の保証

心理行動科学科では、教員が授業で評価する仕組みに加えて、学外の検定等を活用した外部評価によっても、学びの質が十分な水準に達しているかどうかを確認しています。

心理学の専門家としての能力については、日本心理学諸学会連合の心理学検定2級に合格することを条件としています（心理学実践研修Aの単位としても認定されます）。さらに、日本心理学会の認定心理士を取得することで、多くの卒業生には心理学検定1級を取得できる道も開かれています。受験にかかる費用の一部は学科から補助しますので、これまでに自己負担額ゼロで合格を勝ち取る学生さんもいます。また、検定合格という目標が設定されることで、ふだんの授業での意欲が格段に高まったという意見も寄せられています。

このように、学んだことがしっかりと身につけているかを、学外の評価も含めて常にチェックできる仕組みを導入することによって、学びの質を保証しています。

5 社会で求められる力の獲得

経済産業省の調査では、1.前に踏み出す力(アクション)、2.考え抜く力(シンキング)、3.チームで働く力(チームワーク)が重視されることが分かっています。本学科のカリキュラムは、この3つの力が身につくように考えられています。まず、1年次から小グループで研究をし、広く一般に発表する心理学実践セミナーなど、「アクション力」を獲得する機会がたくさんあります。また、2年次の心理学実験実習からはじまって4年次の卒業研究まで続く実証的な学びでは、科学的データを客観的に解釈する力が求められ、「シンキング力」が身につきます。また、実証と並んで本学科の特色である実践的な学びにおいては、学内外の様々な人々とのコミュニケーションが必要となります。このような実践活動においては、自分の意志を的確に伝える表現力が求められ、この表現力は「チームワーク力」の重要な要素となります。これらの力を獲得することによって、就職活動はもちろん、実社会においてどんな資格よりも役に立ちます。

卒業生の主な就職・進学先

金融・保険／日本銀行、三井住友銀行、ゆうちょ銀行、セブチ銀行、仙台銀行、山形銀行、
 荘内銀行、福島銀行、秋田銀行、北都銀行、仙南信用金庫、盛岡信用金庫、
 あぶくま信用金庫、第一生命保険、損害保険ジャパン日本興亜、東京海上日動火災保険
 卸売・小売／サマンサタバサジャパンリミテッド、メガネット、仙台北ヨベット、ダイユーエイト、藤崎、
 大塚家具、東京インテリア家具、やまや、スズキ自販宮城、川徳、みやぎ生活協同組合、メガネの相沢
 医療・福祉／厚生会 仙台厚生病院、進興会 せんだい総合健診クリニック、
 宮城県予防医学協会、回生堂 しのぶ病院、山形県社会福祉事業団、
 仙台市医師会、きり健康生活協同組合
 建設・不動産／中央コンサルタンツ、平野組、ダイダン東北支店、ミニミニ、エイブル、
 今野不動産、ハウスメイドグループ、国土防災技術、ネクソ・メンテナンス東北
 製造／クリナップ、新日鐵住金、ジュングループ、NOK仙台支店、
 朝日スチール工業仙台営業所、コーセー、アルビオン、バンセ

サービス業／JA(ふくしま未来、みやぎ仙南、さがえ西村山)、
 JR東日本東北総合サービス、東洋ワーク、仙台ワシントンホテル、
 一の坊、ジェイコム、日本郵便、トランスコスモス、楽天ソシオビジネス、金蛇水神社
 情報通信業／NHKプラネット東北、福島民報社、第一エージェンシー、マクロミル
 運輸業／仙台空港鉄道、全農物流
 教育・学習支援業／東北大学、仙台白百合女子大学、宮城学院、qualia
 公務／仙台市、山形県、陸上自衛隊、警視庁、宮城県警察本部、仙台国税局

進学／東北大学大学院、東北福祉大学大学院、尚絅学院大学大学院、
 秋田大学大学院、福島大学大学院、福島学院大学大学院、
 大阪保健医療大学言語聴覚専攻科、仙台青葉学院短期大学言語聴覚学科、
 宮城学院女子大学大学院

6 卒業生からのメッセージ



2011年
3月卒業
和田 彩さん
WADA, Aya
宮城県岩手県高校出身
大崎市民病院勤務
(公認心理師・臨床心理士)

大学卒業後に東北福祉大学大学院修士課程を修了し、現在は公認心理師として病院に勤務しています。
 大学入学当時から、大学院に進学して臨床心理士資格を取得することを目標としていた私にとって、進学に必要な科目を網羅的に学習できる心理行動科学科のカリキュラムはとても魅力的でした。卒業して思うことですが、単に進学に有利だというだけでなく、臨床心理学に関連する分野だけを集中的に学ぶ他大学の心理学科よりも、広い視野を持って臨めるように思います。
 また、大学院進学を考えている学生を対象に、課外で院試対策の自主ゼミがあるので、とても心強かったです。



2022年
3月卒業
野呂 瑞葉さん
NORO, Mizuha
秋田県立能代高校出身
(㈱コスモネット勤務)

高校生の時、私は将来どんな人生を送りたいか具体的に決められずにいました。そんな時に、心理学があらゆる日常場面で活かすことができる学問だと知り、心理学を実践的に幅広く学べるこの学科を選びました。
 先生方の手厚いサポートが受けられたので、学内外を問わずさまざまな経験を積むことができました。特に、1年生のときの「ココロサイコロ」での研究発表は心に残っています。初めて取り組んだ研究を学外で一般の方に発表するのは勇気がいりましたが、研究や発表を通じて様々な交流をしたことで、たくさんの経験ができたと思います。
 このような体験を積み重ねることで、心理学の学びを自分の将来に活かす道を見つめることができました。



社会で学ぶ活動「現場部」

心理行動科学科のモットー「心理学は、机の上だけでは学べない」を象徴する活動が現場部。心理学の学びに関わる実際の現場を訪問し、「見て、聞いて、感じて、まとめる」アクティブ・ラーニング形式の活動です。これまで、学生さんからの希望も取り入れながら、少年院や少年鑑別所、科学捜査研究所、宇宙航空開発機構(JAXA)、原子力発電所、水族館など多様な現場を訪れてきました。心理学実践研修Bの対象ですから、活きた知識を身につけながら単位にもつながる学科一押しの活動です。

宮城学院女子大学 学芸学部 心理行動科学科

Department of Psychological and Behavioral Science

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1-1 Tel/Fax:022-277-6491(学科直通 担当:山田)

心理行動科学科オフィシャルページ

<http://www.mgu.ac.jp/main/departments/gakugei/pb/>

心理行動科学科オリジナルサイト

<http://www.mgu.ac.jp/~shinri/>

